

//-----//

# Ruby Script Vol.1

//-----//

## 【はじめに】

アップル純正メールソフト Mail.app で管理しているメールの件名 (Subject) や内容を表示する Ruby スクリプト。文字化けしたメールなどを正しく表示できます。

## 【使用する前の準備】

ファイル ruby.zip 展開したフォルダ ruby/bin フォルダの ProgramOpt.rb をエディタなどで開いてください。

```
-----[ ProgramOpt.rb ]-----  
$TRASH_DIR = "/Users/あなたのアカウント/Library/Mail/メールアカウント/Deleted Messages.mbox/Messages"  
  
$INBOX_DIR = "/Users/あなたのアカウント/Library/Mail/メールアカウント/INBOX.mbox/Messages"  
  
$OTHER_DIR = "/Users/あなたのアカウント/Library/Mail/Mailboxes/メールボックス名.mbox/Messages"  
-----
```

\$TRASH\_DIR、\$INBOX\_DIR、\$OTHER\_DIR の 'あなたのアカウント'、'メールアカウント'、'メールボックス名' をそれぞれ自分のフォルダに設定する必要があります。\$TRASH\_DIR、\$INBOX\_DIR、\$OTHER\_DIR は 拡張子が eml のファイルがあるフォルダを指定してください。

基本的には

\$TRASH\_DIR : メインのメールアカウントのごみ箱  
\$INBOX\_DIR : メインのメールアカウントの受信  
\$OTHER\_DIR : 自分の好みのメールボックス

を設定してください。

## 【内容】

ruby/bin フォルダーに以下のファイルが含まれています。

subject.rb	ファイル名、ファイルの情報、メールの宛先、件名、差出人 を表示
plain.rb	base64 形式のデータをテキストに変換して表示
jpeg.rb	base64 形式のデータを jpeg 形式のデータに変換しファイルに保存
gif.rb	base64 形式のデータを gif 形式のデータに変換しファイルに保存
type.rb	nkf を利用して文字化けしたデータを自動判別して表示

ProgramOpt.rb    上の5つの実行ファイルから利用されるライブラリ

## 【インストール・実行】

### 1) ターミナル (/アプリケーション/ユーティリティ/ターミナル.app) 上で、実行ファイルのあるフォルダに移動して実行

ファイル ruby.zip 展開したフォルダ ruby を好きな場所に配置し、ターミナル上で上の 6 つのファイルがあるフォルダーに移動して、

```
----[ ターミナル ]-----
~ $cd ruby/bin
~/ruby/bin $ruby subject.rb -i
~/ruby/bin $./subject.rb -i
~/ruby/bin $ruby type.rb -t 19011.emlx
~/ruby/bin $./type.rb -t 19011.emlx
```

などのように実行します。

### 2) ターミナル上で、フォルダを移動せずにコマンドを入力して実行

ファイル ruby.zip を展開したフォルダ ruby を 'Users/あなたのアカウント' に移動します。(違う場所に配置したい場合は、以下で説明する設定を自分用に変更してください。)

subject.rb、plain.rb、jpeg.rb、gif.rb、type.rb ファイルがあるパスを .bashrc の PATH に指定し、環境変数 RUBYLIB に ProgramOpt.rb ファイルがあるパスを設定してください。

(.profile も同様に設定してください。面倒な人は .profile を ln コマンドを使って .bashrc のシンボリックリンクに設定するのがお勧めです。

```
----[ ターミナル ]-----
~ $ln -s ~/.bashrc .profile
```

)

以下の例は、展開した ruby フォルダを '/Users/あなたのアカウント' に移動して設定した例です。

(ファイル .bashrc は Finder 上では表示されません。ターミナルでコマンド `ls -a` を実行することで表示できます。ファイル .bashrc がない時は新規に作成してください。ファイル .bashrc の編集には emacs などを利用してください。emacs などを利用したことがない人は、mi、CotEditor などのエディタで下記内容の新規ファイル test.txt を作成して 'ホーム' フォルダに保存し、コマンド `cp test.txt .bashrc` でコピーしてください。cat .bashrc で内容を表示することができます。

```
----[ ターミナル ]-----
~ $ls -a
-rw-r--r--  1 xxxxxx  xxxxxx   1005 Nov 29 21:48 .bashrc
lrwxr-xr-x  1 xxxxxx  xxxxxx    23 Sep 17 21:59 .profile@ -> /Users/xxxxxx/.bashrc
```

以下略

```
~ $cp test.txt .bashrc
~ $cat .bashrc
```

```
----[ .bashrc ]-----  
export PATH=$PATH:/usr/local/bin:/opt/local/bin:/Developer/Tools:~/ruby/bin  
export RUBYLIB=$HOME/ruby/lib  
-----
```

するとカレントディレクトリを移動することなく実行できます。

```
----[ ターミナル ]-----  
~ $subject.rb -i  
~ $type.rb -t 19011.emlx  
-----
```

ProgramOpt.rb のシンボリックリンクがうまくいっていない場合は次のように再設定してください。

```
----[ ターミナル ]-----  
~ $cd ruby/lib  
~/ruby/lib $rm ProgramOpt.rb  
~/ruby/lib $ln -s ~/ruby/bin/ProgramOpt.rb ProgramOpt.rb  
-----
```

## 【使い方】

subject.rb [オプション]  
plain.rb [オプション] ファイル名  
jpeg.rb [オプション] ファイル名  
gif.rb [オプション] ファイル名  
type.rb [オプション] ファイル名

subject.rb、plain.rb、jpeg.rb、gif.rb、type.rb に -h オプションを付けると下のように表示されます。

```
----[ ターミナル ]-----  
~ $subject.rb -h  
Usage: subject [options]  
-n          (s)Print Mail Name  
-k          (s)NKF Subject, Mail Name, Mail Address  
-t          Trash Folder  
-i          Inbox Folder  
-s          (s)Print Subject  
-m          (s)Print Mail Name, Mail Address  
-a          (s)Print Subject, Mail Name, Mail Address  
-o          Other Folder  
-f          (s)Print Mail Address  
~ $  
-----
```

(s) と表示されているオプションは subject.rb だけに有効です。他のオプションは subject.rb、plain.rb、jpeg.rb、gif.rb、type.rb すべてに有効です。

subject.rb、plain.rb、jpeg.rb、gif.rb、type.rb に -t、-i、-o のオプションを付けるとそれぞれ ProgramOpt.rb で設定したフォルダの中のファイルを対象にします。

-t : \$TRASH\_DIR  
-i : \$INBOX\_DIR  
-o : \$OTHER\_DIR

-t、 -i、 -o のオプションのどれも指定しない場合は、カレントディレクトリが対象になります。

subject.rb の -a、 -n、 -s、 -f オプションはそれぞれ

-a : メールの差出人の名前、差出人のメールアドレス、件名をすべて表示

----[ ターミナル ]-----

~ \$subject.rb -oa

h--- 8894.emlx From:Apple Developer Connection <noreply@adc.apple.com>

Subject:ADC News #465

h--- 9035.emlx From:Apple <News@InsideApple.Apple.com>

Subject:あなたの会社のロゴ入りiPodを作ってみませんか?

h--- 9169.emlx From:Apple eNews Japan <Apple-eNews-J@news.apple.co.jp>

Subject:Apple eNews - Japan : アップルのイチオシ夏の最新iPodアクセサリはコレ!

h--- 9292.emlx From:iTunes Music Store <itunes\_jp@new-music.itunes.com>

Subject:New Music Wednesday: Wolfmother, MISIA, その他

--- 9393.emlx From:Tech Info Library Update Japan <TIL-Update-J@news.apple.co.jp>

Subject:Tech Info Library - Japan : 07/07/2006

h--- 9849.emlx From:iTunes Music Store <itunes\_jp@new-music.itunes.com>

Subject:New Music Wednesday: GOING UNDER GROUND, FUJI ROCK FESTIVAL!!! その他

h--- 9926.emlx From:QuickTime News Japan <qtnews@news.apple.co.jp>

Subject:QuickTime News - Japan : 7/13/2006

-----

-n : メールの差出人の名前を表示

----[ ターミナル ]-----

~ \$subject.rb -on

h--- 9169.emlx From:Apple eNews Japan

h--- 9292.emlx From:iTunes Music Store

--- 9393.emlx From:Tech Info Library Update Japan

h--- 9849.emlx From:iTunes Music Store

h--- 9926.emlx From:QuickTime News Japan

-----

-s : メールの件名を表示

----[ ターミナル ]-----

~ \$subject.rb -os

h--- 9169.emlx Subject:Apple eNews - Japan : アップルのイチオシ夏の最新iPodアクセサリはコレ!

h--- 9292.emlx Subject:New Music Wednesday: Wolfmother, MISIA, その他

--- 9393.emlx Subject:Tech Info Library - Japan : 07/07/2006

h--- 9849.emlx Subject:New Music Wednesday: GOING UNDER GROUND, FUJI ROCK FESTIVAL!!! その他

h--- 9926.emlx Subject:QuickTime News - Japan : 7/13/2006

-f : 差出人のメールアドレスを表示

```
----[ ターミナル ]-----
~ $subject.rb -of
h--- 9169.emlx From:Apple-eNews-J@news.apple.co.jp
h--- 9292.emlx From:itunes_jp@new-music.itunes.com
--- 9393.emlx From:TIL-Update-J@news.apple.co.jp
h--- 9849.emlx From:itunes_jp@new-music.itunes.com
h--- 9926.emlx From:qtnews@news.apple.co.jp
```

の動作をおこないます。

k オプションはメールの件名(subject)や差出人が文字化けしているときに利用してください。

```
----[ ターミナル ]-----
~ $subject.rb -onk
h--- 9169.emlx From:Apple eNews Japan
h--- 9292.emlx From:iTunes Music Store
--- 9393.emlx From:Tech Info Library Update Japan
h--- 9849.emlx From:iTunes Music Store
h--- 9926.emlx From:QuickTime News Japan
```

subject.rb の一番左に表示されている文字列 hpgj は

```
----[ ターミナル ]-----
~/ruby/bin $subject.rb
h-g- 18000.emlx Subject:sample9
h-j 18001.emlx Subject:sample9
-p-- 18002.emlx Subject:sample4
--- 18692.emlx Subject:sample6
h-g- 18740.emlx Subject:sample1
h-g- 18898.emlx Subject:sample7
h-j 18966.emlx Subject:sample8
h-g- 18968.emlx Subject:sample3
-p-- 18982.emlx Subject:sample2
h-g- 18984.emlx Subject:sample5
h-g- 19011.emlx Subject:sample11
~/ruby/bin $
```

順番に

h : メールが HTML 形式、- はHTML形式ではない

p : メールに base64 形式のテキストが含まれている、- は base64 形式のテキストが含まれていない

g : メールに base64 形式の gif 画像が含まれている、- は base64 形式の gif 画像が含まれていない

j : メールに base64 形式の jpeg 画像が含まれている、- は base64 形式の jpeg 画像が含まれていない

を表しています。pgj の情報が付いているファイルはそれぞれ

---

```
----[ ターミナル ]-----  
~/ruby/bin $plain.rb 18002.emlx  
~/ruby/bin $jpeg.rb 18001.emlx  
~/ruby/bin $gif.rb 18000.emlx
```

---

上記コマンドを実行することで表示したり、画像をファイルに保存することができます。

まとめると

---

p : plain.rb を使用する  
g : gif.rb を使用する  
j : jpeg.rb を使用する

メールファイルの内容を表示したい場合は、type.rb を使用する

---

になります。

type.rb は nkf を使って文字コードを判別しているので文字化けしたメールを変換して表示できます。

---

```
----[ ターミナル ]-----  
~ $type.rb -o 9926.emlx  
28312  
Return-Path: <qtnews@news.apple.co.jp>  
Received: from [172.23.0.15] by ms41 with LMTP for <koyama-@za2.so-net.ne.jp>; Thu, 13 Jul 2006 20:14:59  
+0900  
Content-Type: text/plain; charset=iso-2022-jp  
Content-Transfer-Encoding: 7bit
```

=====

QuickTime News Japan  
July 13, 2006

---

このemailは、HTML形式でお送りしております。

ご購入者の皆様の中で、HTML形式のemailをサポートしていないemailソフト  
をご利用の方などのために、HTML形式に替わりTEXT形式でお送りしており  
ます。

---

## 【著作権】

フリーウェア。本ソフトに含まれるソフトウェア、データ、ドキュメント、ソースなどの著作権は KOYAMAYoshiaki が所有します。改造して公開する場合は [KOYAMA Yoshiaki \[ koyama-@za2.so-net.ne.jp \]](mailto:koyama-@za2.so-net.ne.jp) までご連絡ください。

## 【保証】

著者は本ソフトの使用で起こった障害に対しての責任、保証義務を一切負わないものとします。

## 【動作環境】

動作確認は、Mac OS X バージョン 10.4.8 ビルド 8L127 でおこなっています。

## 【独り言】

独り言は、はてなダイアリーで週に1回更新するつもりです。はてなダイアリーの URL は [KOYAMA Yoshiaki の日記](http://d.hatena.ne.jp/KYoshiaki/) [<http://d.hatena.ne.jp/KYoshiaki/>] です。プログラムの説明や詳しい参考文献の紹介なども行っています。コメント、トラックバックはスパム防止のため拒否設定しています。要望があれば許可するかもしれません。

## 【開発環境】

ruby 1.8.2 (2004-12-25) [powerpc-darwin8.0]

ruby 1.8.4 (2005-12-24) [powerpc-darwin8.7.0]

gimp 2.2

EGWORD 14

## 【参考文献】

書籍名 : たのしいRuby 第2版 Rubyではじめる気軽なプログラミング

出版社名 : ソフトバンククリエイティブ

著者名 : 高橋 征義 著, 後藤 裕蔵 著

価格 : 2,730円

Rubyリファレンスマニュアル - Rubyリファレンスマニュアル

<http://www.ruby-lang.org/ja/man/?cmd=view;name=Ruby%A5%EA%A5%D5%A5%A1%A5%EC%A5%F3%A5%B9%A5%DE%A5%CB%A5%E5%A5%A2%A5%EB>

Rubyリファレンスマニュアル - 組み込みクラス／モジュール／例外クラス

<http://www.ruby-lang.org/ja/man/?cmd=view;name=%C1%C8%A4%DF%B9%FE%A4%DF%A5%AF%A5%E9%A5%B9%A1%BF%A5%E2%A5%B8%A5%E5%A1%BC%A5%EB%A1%BF%CE%E3%B3%B0%A5%AF%A5%E9%A5%B9>

Rubyリファレンスマニュアル - 添付ライブラリ

<http://www.ruby-lang.org/ja/man/?cmd=view;name=%C5%BA%C9%D5%A5%E9%A5%A4%A5%D6%A5%E9%A5%EA#a.a5.d5.a5.a1.a5.a4.a5.eb>

Rubyリファレンスマニュアル - packテンプレート文字列

<http://www.ruby-lang.org/ja/man/?cmd=view;name=pack%A5%C6%A5%F3%A5%D7%A5%EC%A1%BC%A5%C8%CA%B8%BB%FA%CE%F3>

## 【メール】

御意見、感想はこちらまで。

小山 嘉昭

KOYAMA Yoshiaki

[koyama-@za2.so-net.ne.jp](mailto:koyama-@za2.so-net.ne.jp)

Ruby Script Vol.1 ReadMe 0.1

[yos\\_koyama@mac.com](mailto:yos_koyama@mac.com)

Yoshiaki's HomePage

<http://koyama-cool.ne.jp/>

<http://www001.upp.so-net.ne.jp/koyama-/>

KOYAMA Yoshiaki の日記

<http://d.hatena.ne.jp/KYoshiaki/>